

第 I 章 砂川市の概況と特性

第 I 章 砂川市の概況と特性

1. 市の概要

(1) 位置・地理・地形

砂川市は北海道のほぼ中央に位置し、東は夕張山系を境に赤平市、歌志内市、上砂川町に隣接した丘陵地帯が続き、西は石狩川を挟んで新十津川町、浦臼町に、北は空知川を挟んで滝川市、そして南は奈井江町に隣接した平地地帯が広がっています。その市域は、東西に約 10.5km、南北に約 12.7km、総面積は 78.69 km²あり、市街中心部は平地地帯で南北に細長く展開し、中央には国道 12 号のほか、JR 函館本線や道央自動車道がそれぞれ縦貫しており、豊かな緑と水に囲まれた商工農のバランスがとれたまちです。

(2) 気 候

砂川市の気候は、石狩川流域の平坦部からなっているため、全体的にみると内陸性気候で、夏冬の寒暖の差が大きく、夏季の降雨量と冬季の降雪量が多くなっています。

(3) 沿 革

砂川市の歴史は、明治 19 年から行われた旭川までの道路開削が始まりで、明治 23 年に奈江村として開基し、その後明治 30 年に歌志内を分村後、明治 36 年に砂川村と改称、大正 12 年に町制が施行されました。以後、昭和 19 年の奈井江分村、昭和 24 年の上砂川分町を経て、昭和 33 年に北海道で 26 番目の市として市制を施行しています。

昭和 49 年に緑化都市宣言を行い、さらに同 59 年には環境庁から道内初のアメニティ・タウン（快適環境都市）の指定を受けました。以降、アメニティ・タウン構想を軸に「公園の中に都市がある、美しいまちづくり」を推進し、市民一人あたりの都市公園面積は 202.84 平方メートル（平成 24 年 3 月現在）と日本一を誇っています。

近年は、国道 12 号沿いの菓子店を中心に「スイートロード」と称したお菓子によるまちおこしが進められています。また、中空知 2 次医療圏の地域センター病院である市立病院を改築し平成 22 年には新病院が開院するなど、安心して医療が受けられ、快適で住みやすいまちとして発展し続けています。

2. 健康に関する概況

表1 社会保障の視点で見た砂川市の特徴

北海道と比較して課題となるもの

項目		全国		北海道		砂川市				
		人数	割合	人数	割合	人数	割合			
1	人口構成 H22年 国勢調査	総人口	128,057,352	-	5,506,419	-	19,056	-		
		0歳～14歳	16,803,444	13.2%	657,312	11.9%	2,147	11.3%		
		15歳～64歳	81,031,800	63.8%	3,482,169	63.2%	10,977	57.6%		
		65歳以上	29,245,685	23.0%	1,358,068	24.7%	5,932	31.1%		
		(再掲)75歳以上	14,072,210	11.1%	670,118	12.2%	3,073	16.1%		
2	平均寿命 厚生労働省 (H17年)	男性	78.8		78.3		77.9	98位		
		女性	85.8		85.8		86.2	46位		
3	死亡 (主な死因年次推移分 類) H22年度人口動態 注意:市町村データは H22年度版 地域保健情報年報 H21年度死亡	死亡原因	死亡原因	死亡率 (10万対)	原因	死亡率 (10万対)	原因	死亡率 (10万対)		
		1位	悪性新生物	279.7	悪性新生物	324.8	悪性新生物	409.2		
		2位	心疾患	149.8	心疾患	162.6	心疾患	222.7		
		3位	脳血管疾患	97.7	脳血管疾患	96.3	脳血管疾患	129.5		
		4位	肺炎	94.1	肺炎	96.2	肺炎	98.4		
		5位	老衰	35.9	不慮の事故	30.3	不慮の事故	51.8		
4	早世予防からみた 死亡(64歳以下) H22年人口動態調査	合計	176,549人	14.7%	8,690人	15.7%	34人	14.0%		
		男性	110,065人	18.9%	5,696人	19.1%	22人	18.0%		
		女性	56,584人	10.0%	2,994人	11.7%	12人	10.0%		
5	介護保険 H22年度 介護保険事業状況報告	認定者数(H22年度末)	5,062,234人		245,769人		943人			
		1号認定者数/1号被保険者 に対する割合	4,907,439人	16.9%	238,801人	17.7%	918人	15.4%		
		2号認定者数/ 2号人口に対する割合	154,795人	0.36%	6,968人	0.36%	25人	0.39%		
		第1号被保険者分 介護給付費 (単位:千円)	6,663,722.854	229	296,109,294	219	1,217,519	204		
6	後期高齢者医療 H22年度後期高齢者 医療事業状況報告	加入者(年度平均)	14,059,915人		667,265人		3,169人	全道 112 位		
		1人あたり医療費(円)	904,795		1,070,584	全国 34位	934,278			
		医療費総額(千円)	12,721,335,977		714,268,239		2,960,727			
7	国保 平成22年度 国民健康保険事業年報	被保険者数	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
			35,849,071人	-	1,506,331人	-	5,120人	-		
		(再掲)前期高齢者	11,222,279人	31.3%	497,459人	33.0%	2,197人	42.9%		
		(再掲)70歳以上			247,804人	16.5%	1,141人	22.3%		
		一般	33,851,629人	94.4%	1,426,957人	94.7%	4,738人	92.5%		
		退職	1,997,442人	5.6%	79,374人	5.3%	382人	7.5%		
8	医療費 平成22年度 国民健康保険事業年報	加入率(年度末)		28.00%		27.4%				
		医療費総額 (千円)	10,730,826,914	299	514,984,785	342	2,006,365	392		
		(再掲)前期高齢者			256,895,211	516	1,063,339	484		
		(再掲)70歳以上			148,716,172	600	606,396	531		
		一般(千円)	9,981,583,067	295	480,374,599	337	1,866,777	394		
退職(千円)	749,243,846	375	34,610,186	436	139,587	365				
9	人工透析患者 H23年度末 自立支援医療(更生医 療)意見書より	透析患者数/人口千対	297,126人	2.320	14,493人	2.632	72人	3.778		
		糖尿病性腎症/割合					30人	41.7%		
9	生活保護 H22年度 (年度平均)	保護世帯/保護人員/保護率(%)	1,410,049	1,952,063	15.3	110,312	159,542	28.8		
		医療扶助率					217	302	16.10	
10	特定健診 特定保健指導 H22年度 特定健診・特定保健指導 実施結果集計表	特定健診	受診者数	受診率	受診者数	受診率	全国順位	受診者数	受診率	全道順位
			7,169,761人	32.0%	218,140	22.6%	45位	1,260	35%	60位
		特定保健指導	終了者数	実施率	終了者数	実施率	全国順位	終了者数	実施率	全道順位
		198,778人	20.8%	8,533	20.9%	17位	117	69.2%	16位	

(1) 人口構成

砂川市の人口構成を全国、全道と比較すると、65歳以上の高齢化率及び75歳以上の後期高齢化率は、いずれも全国や全道より高くなっています。(表1)

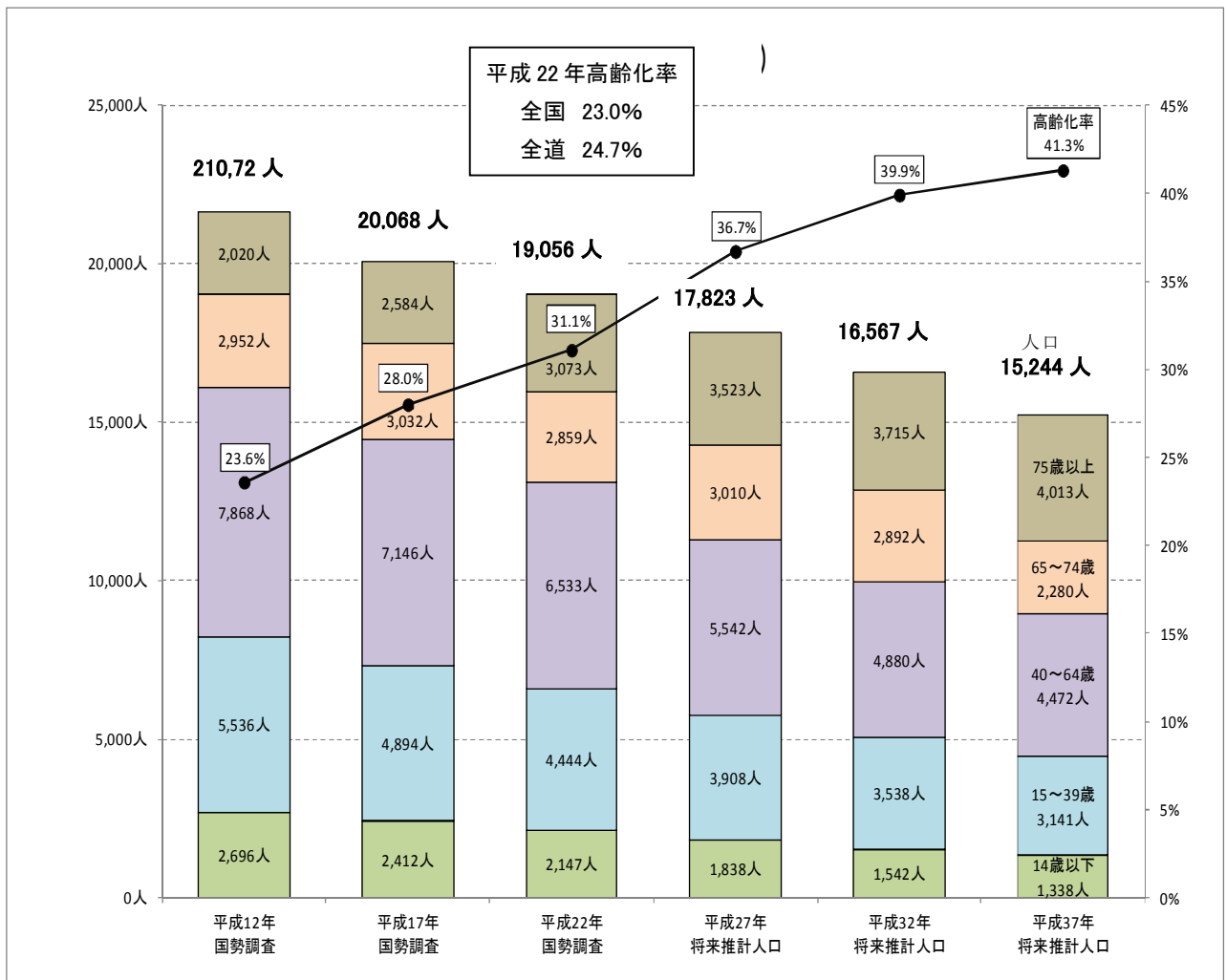
砂川市の人口(国勢調査)は、平成17年には20,068人でしたが、平成22年には19,056人となり減少傾向にあります。

人口構成は、64歳以下人口が平成17年から平成22年までの5年間に、1,328人減少しているのに対して、65歳以上人口は、316人増加しています。

高齢化率は、平成17年には28.0%でしたが、平成22年には31.1%となり、全国(23.0%)や全道(24.7%)に比べて高齢化率が高くなっています。

生産年齢人口(15歳～64歳)・年少人口(0歳～14歳)ともに総人口に占める割合が減少傾向にあり、少子高齢化が進行しているとともに今後はさらにその傾向が強まると予測されます。(図1)

図1 人口の推移と推計



資料：平成12年、平成17年、平成22年 国勢調査

平成27年、平成32年、平成37年 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市町村別将来推計人口」(平成20年12月推計)

人口推計では、四捨五入の関係で合計が総数に合致しないことがあります。

(2) 死亡

砂川市の平均寿命は、全国・全道と比較すると男性は短く、女性は長い状況です。(表2)

表2 平均寿命

(厚生労働省 平成17年末)

	全国	北海道	砂川市(道内順位)	
男性	78.8歳	78.3歳	77.9歳	98位
女性	85.8歳	85.8歳	86.2歳	46位

平成21年の砂川市の主要死因を全国・全道と比較すると、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の死亡率が何れも全国・全道よりも高くなっています。(表3)

表3 主な死因

(全国北海道平成22年度人口動態 市地域保健情報年報平成21年度分)

	全国		北海道		砂川市	
	死亡原因	死亡率(10万対)	死亡原因	死亡率(10万対)	死亡原因	死亡率(10万対)
1位	悪性新生物	279.7	悪性新生物	324.8	悪性新生物	409.2
2位	心疾患	149.8	心疾患	162.6	心疾患	222.7
3位	脳血管疾患	97.7	脳血管疾患	96.3	脳血管疾患	129.5
4位	肺炎	94.1	肺炎	96.2	肺炎	98.4
5位	老衰	35.9	不慮の事故	30.3	不慮の事故	51.8

主要死因の5年間の変化をみると、悪性新生物が第1位で推移しており全死亡の約3割を占めています。第2位は平成18年以降は心疾患であり増加傾向にあります。脳血管疾患は横ばいの状況です。(表4)

表4 砂川市の主要死因の変化

年次	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
総数	216人	202人	222人	239人	237人
	原因 (10万対)	原因 (10万対)	原因 (10万対)	原因 (10万対)	原因 (10万対)
第1位	悪性新生物 71人 (353.0)	悪性新生物 59人 (295.8)	悪性新生物 89人 (451.8)	悪性新生物 82人 (420.1)	悪性新生物 79人 (409.2)
第2位	脳血管疾患 28人 (139.2)	心疾患 37人 (185.5)	心疾患 31人 (157.4)	心疾患 31人 (158.8)	心疾患 43人 (222.7)
第3位	心疾患 24人 (119.3)	脳血管疾患 22人 (110.3)	脳血管疾患 27人 (137.1)	脳血管疾患 31人 (158.8)	脳血管疾患 25人 (129.5)
第4位	肺炎 22人 (109.4)	肺炎 18人 (90.2)	肺炎 17人 (86.3)	肺炎 21人 (107.6)	肺炎 19人 (98.4)
第5位	不慮の事故 7人 (34.8)	自殺 9人 (45.1)	不慮の事故 7人 (35.5)	不慮の事故 10人 (51.2)	不慮の事故 10人 (51.8)
自殺	第6位 5人 (24.9)	第5位 9人 (45.1)	第7位 4人 (20.3)	第9位 2人 (10.2)	第6位 3人 (15.5)

前計画の目的であった早世(64歳以下)死亡の減少について、平成17年からの変化をみると、男性は実数・割合とも横ばいで経過しており、女性は若干減少傾向にあります。(表5)

表5 早世死亡(64歳以下)の状況

(全死亡に占める64歳以下の死亡割合)

	砂川市						全国	北海道
	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成22年	
男性	22人	22人	27人	20人	26人	22人	110,065人	5,696人
	19.3%	17.5%	20.5%	14.9%	19.5%	18.0%	18.9%	19.1%
女性	14人	6人	9人	10人	11人	12人	56,584人	2,994人
	13.7%	7.9%	10.0%	9.5%	10.6%	10.0%	10.0%	11.7%

(3) 介護保険

砂川市の介護保険の認定率は、第1号被保険者(65歳以上)は15.4%で全国・全道より低くなっていますが、第2号被保険者(64歳以下)の認定率は0.39%と全国・全道より高くなっています。

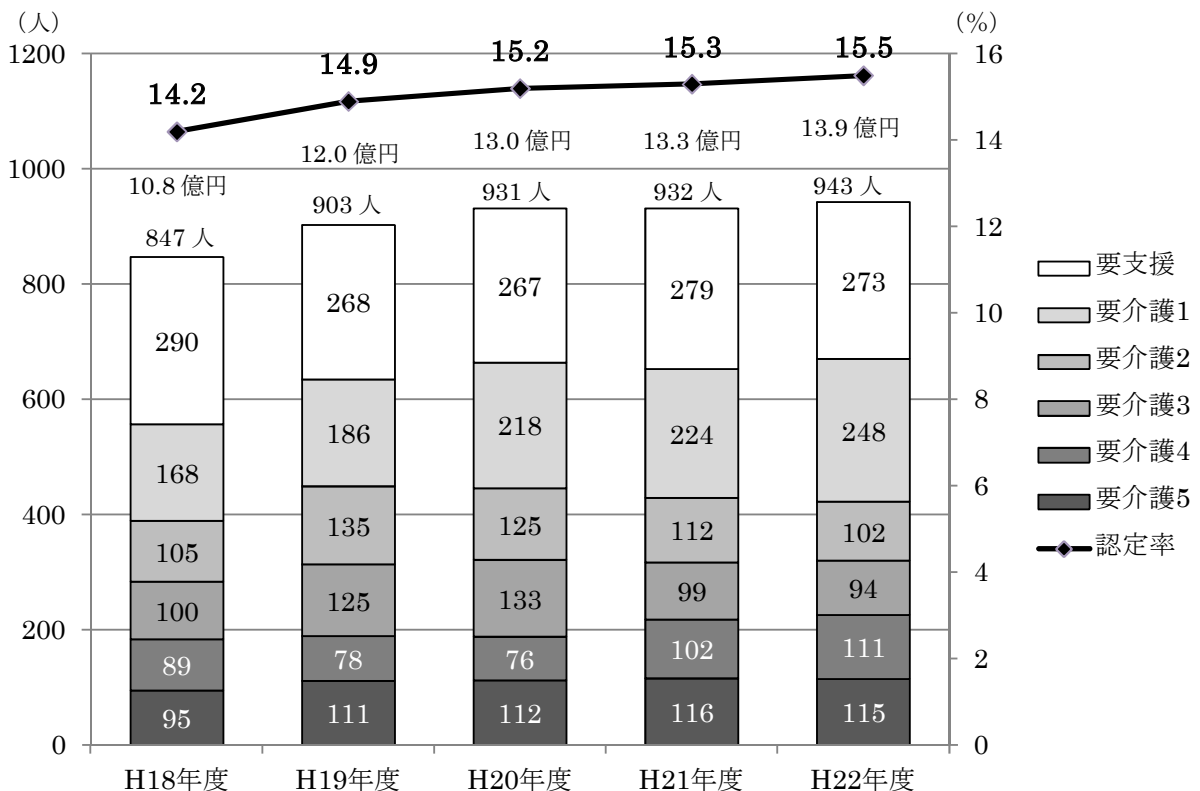
第1号被保険者の1人あたりの介護給付費は、全国・全道より低く、第5期介護保険料月額も全国・全道より低くなっています。(表6)

表6 介護保険の状況 (平成22年度介護保険事業報告 保険料は平成24～26年度)

	全国		北海道		砂川市	
	人数	率	人数	率	人数	率
第1号認定率	4,907,439人	16.9%	238,801人	17.7%	918人	15.4%
再)75歳以上(%)	4,266,338人	29.9%	206,611人	30.7%	838人	26.3%
再)65-74歳(%)	641,101人	4.3%	32,190人	4.7%	80人	2.9%
第2号認定率	154,795人	0.36%	6,968人	0.36%	25人	0.39%
介護給付費(千円) (第1号被保険者分)	給付費	1人あたり	給付費	1人あたり	給付費	1人あたり
	6,663,722,854	229	296,109,294	219	1,217,519	204
第5期保険料(月額)	4,972円		4,631円		4,400円	

平成23年3月末の要介護(支援)認定者数は、943人であり、平成19年3月末の847人と比べて、96人、11.3%増加しており、介護給付費も10.8億円から13.9億円へと、3.1億円、28.7%増加しています。(図2)

図2 要介護(支援)認定者数及び介護給付費の推移



要介護(支援)認定を受けた人の状況を見ると砂川市では、第1号被保険者・第2号被保険者何れも全国・全道に比べて要支援1～要介護2の軽度の認定者の割合が高くなっています。(表7)

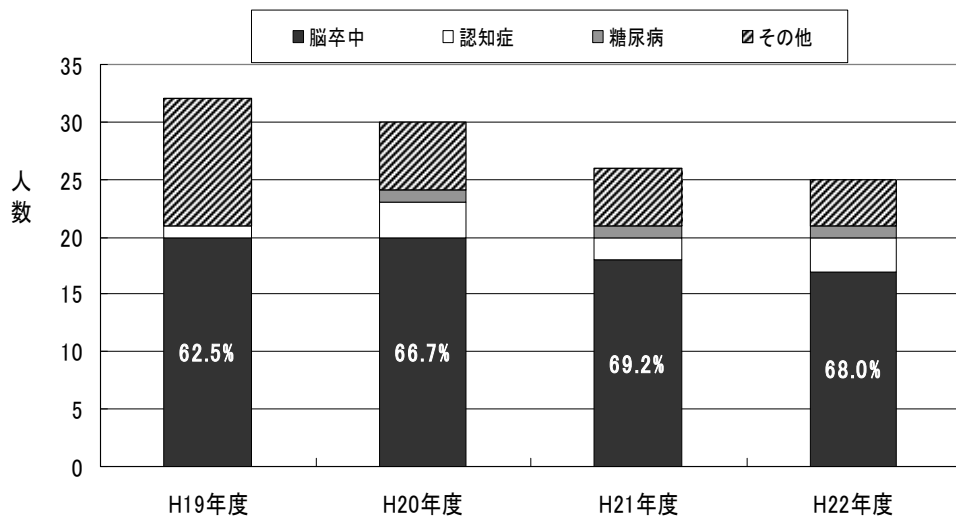
表7 要介護(要支援)度別認定者数 (平成22年度末現在)

		全国		北海道		砂川市	
認定者総数		5,062,234人	100%	245,769人	100%	943人	100%
第1号被 保険者	要支援1～要介護2	3,043,720人	60.1%	157,549人	64.1%	605人	64.2%
	要介護3～5	1,863,719人	36.8%	81,252人	33.1%	313人	33.2%
第2号被 保険者	要支援1～要介護2	91,373人	1.8%	4,438人	1.8%	18人	1.9%
	要介護3～5	63,422人	1.3%	2,530人	1.0%	7人	0.7%

第2号被保険者の認定者数は、介護保険導入時15人であったものが年々上昇し、平成19年度の32人をピークに、徐々に減少しています。介護認定に至った原因疾患を平成22年度の認定者でみると、68.0%が脳血管疾患によるものでした。(図3)

40歳前からの健康管理が重要となります。

図3 第2号被保険者要介護(支援)認定者数の推移と原因疾患



	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
A 認定者数	32	30	26	25
B 脳卒中	20	20	18	17
割合(B/A)	62.5%	66.7%	69.2%	68.0%
認知症	1	3	2	3
糖尿病	0	1	1	1
その他	11	6	5	4
新規認定者数	5	2	3	1

(4) 介護保険からみた健康寿命

介護認定者の年代別認定状況を見ると、高齢になるにつれ認定率は上がり、介護度3～5の重度の占める割合も増えていきます。

砂川市は80歳を境に認定率が大幅に上昇し、85歳を過ぎると約半数の方が要介護状態となっている状況で、比較的健康的な期間が長いといえます。

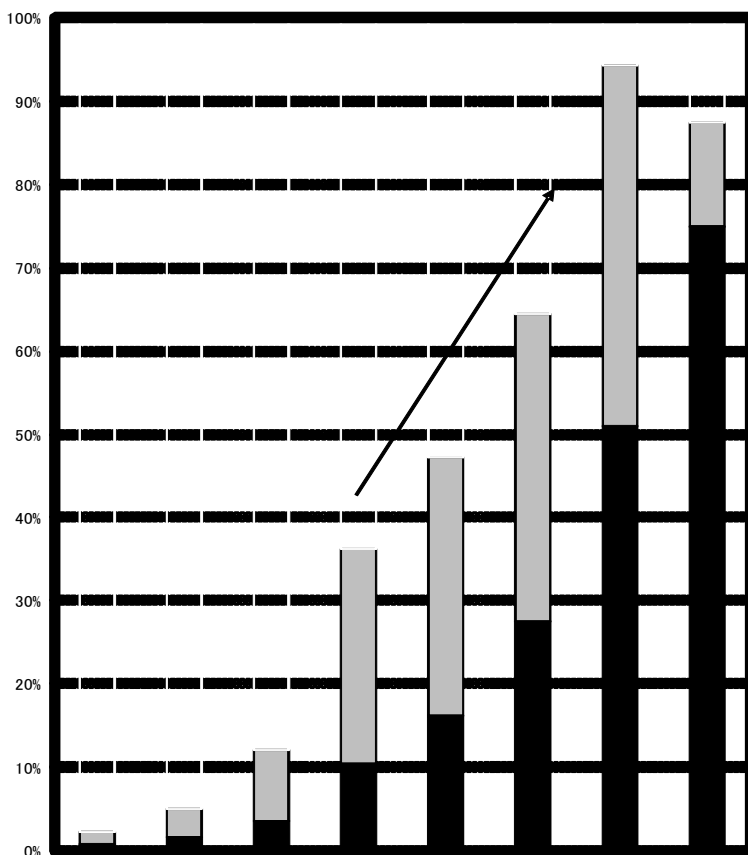
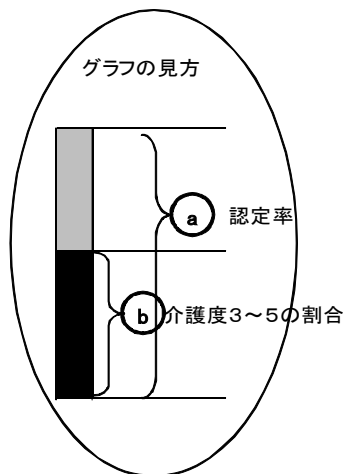
今後、さらに健康寿命を延伸するためには、第2号被保険者及び前期高齢者の認定者を減らす取り組みが重要となります。(図4)

図4 介護保険認定者の年代別認定状況

平成21年3月31日時点の要介護認定状況

総人口	19,349	人
65歳以上人口	5,917	人
高齢化率	30.6	%
平均寿命	男 77.9	歳
	女 86.2	歳

※平均寿命は平成17年



年齢階級		2号		1号								
		40～64歳	1号計	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	
被保険者数	a 人数	6,520	5,616	1,531	1,469	1,256	581	507	211	53	8	
認定者数	b 人数	30	901	33	73	152	211	239	136	50	7	
認定率	b/a 割合	0.46%	16.0%	2.2%	5.0%	12.1%	36.3%	47.1%	64.5%	94.3%	87.5%	
要支援	1・2 小計	e 人数	10	257	9	29	48	69	67	29	6	0
		e/a 割合	0.15%	4.6%	0.6%	2.0%	3.8%	11.9%	13.2%	13.7%	11.3%	0.0%
要介護	1・2 小計	h 人数	15	328	12	20	59	80	90	49	17	1
		h/a 割合	0.23%	5.8%	0.8%	1.4%	4.7%	13.8%	17.8%	23.2%	32.1%	12.5%
	3～5 小計	l 人数	5	316	12	24	45	62	82	58	27	6
		l/a 割合	0.08%	5.6%	0.8%	1.6%	3.6%	10.7%	16.2%	27.5%	50.9%	75.0%

(5) 後期高齢者医療

砂川市の後期高齢者の一人あたりの医療費は、北海道よりは低くなっていますが、全国と比較するとまだ高い状況が続いています。(表8)

高齢期になっても、健康障害を起こさないために、早期からの予防活動の推進が重要です。

表8 一人あたり医療費の状況

順位	1人あたり 老人療養諸費費用額		1人あたり後期高齢者医療費	
	平成17年度		平成22年度	
1	福岡県	1,018,681	福岡県	1,146,623
2	北海道	999,043	高知県	1,084,142
3	高知県	965,946	北海道	1,070,441
17	砂川市	855,577		
19	★全国	826,843	砂川市	934,278
21			★全国	904,795
49	長野県	678,531	岩手県	730,269

北海道との差-14万円

全国との差+3万円

(6) 国民健康保険

平成22年度の砂川市の国民健康保険加入者は5,120人で、年度末加入率は26.9%と全国や全道と比較して低くなっています。退職により、国民健康保険以外から国民健康保険に加入する割合が7.5%とやや高めです。(表9)

国民健康保険以外の保険加入時の保健指導の結果が退職医療に影響してきます。

加入者のうち、前期高齢者(64~75歳未満)が占める割合は42.9%と高く、さらに70~75歳未満の占める割合が22.3%であり、今後は、高齢化の進展によりさらにその傾向が強まると予測されます。(表9)

加入者のうち高齢者の占める割合が多いことから、一般一人あたりの医療費は、39万4千円と全国・全道より高くなっていますが、年齢別に比較すると前期高齢者(64~75歳未満)の一人あたり医療費は、全道平均より3万2千円安くなっています。(表9)

一般的に高齢になるほど、受療率は高くなり、医療費も増大するため、予防可能な生活習慣病の発症予防と重症化予防に努める必要があります。

表9 国民健康保険の状況

(平成 22 年度)

	全国		北海道		砂川市	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
国保加入者	35,849,071 人	—	1,506,331 人	-	5,120 人	-
(再掲) 前期高齢者	11,222,279 人	31.3%	497,459 人	33.0%	2,197 人	42.9%
(再掲) 70～75歳未満			247,804 人	16.5%	1,141 人	22.3%
一般	33,851,629 人	94.4%	1,426,957 人	94.7%	4,738 人	92.5%
退職	1,997,442 人	5.6%	79,374 人	5.3%	382 人	7.5%
加入率(年度末)		28.00%		27.4%		26.9%
医療費総額 (千円)	医療費	1人あたり	医療費	1人あたり	医療費	1人あたり
	10,730,826,914	299	514,984,785	342	2,006,365	392
(再掲) 前期高齢者			256,895,211	516	1,063,339	484
(再掲) 70～75歳未満			148,716,172	600	606,396	531
一般	9,981,583,067	295	480,374,599	337	1,866,777	394
退職	749,243,846	375	34,610,186	436	139,587	365

(7) 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく医療保険者による特定健康診査等

① 国民健康保険加入者の健康診査

生活習慣病の発症予防、重症化予防の最も重要な取り組みである、医療保険者による特定健康診査・特定保健指導は、砂川市国民健康保険の場合、平成 22 年度の法定報告で、受診率 35.0%、保健指導実施率 69.2%と、全国や全道よりは高くなっていますが、受診率については、目標の 65%には達していません。(表 10)

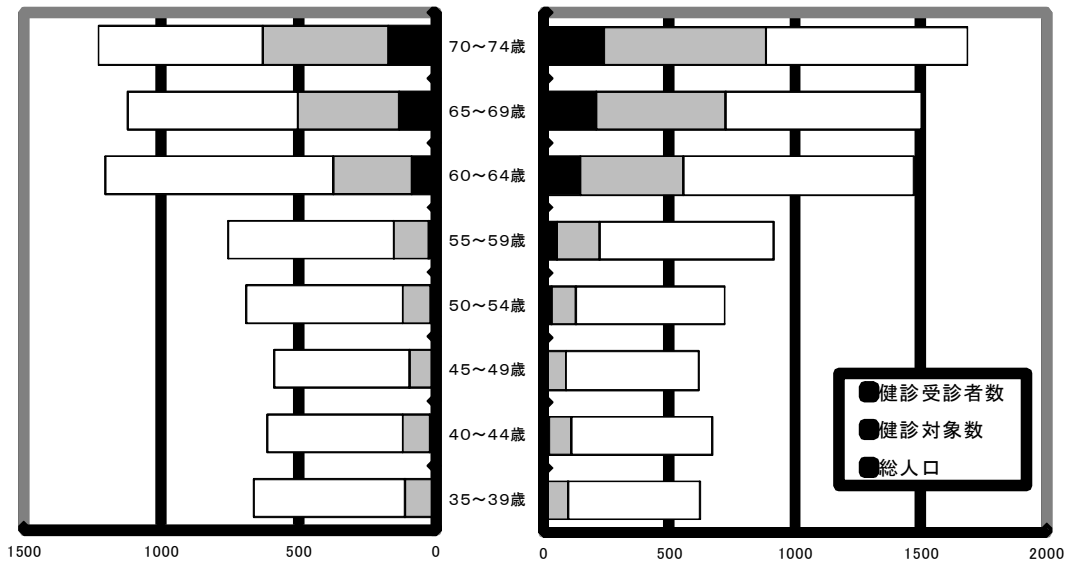
表 10 国民健康保険特定健康診査・特定保健指導状況

(平成 22 年度法定報告分)

	全国		北海道			砂川市		
	受診者数	受診率	受診者数	受診率	全国順位	受診者数	受診率	全道順位
特定健診	7,169,761人	32.0%	218,140	22.6%	45位/47	1,260	35%	60位/179
特定保健指導	終了者数	実施率	終了者数	実施率	全国順位	終了者数	実施率	全道順位
	198,778人	20.8%	8,533	20.9%	17位/47	117	69.2%	16位/179

また、砂川市では、高齢者の医療の確保に関する法律で努力義務である 35 歳から 39 歳までの国保加入者にも健康診査を実施してきたところですが、受診率は低率となっています。(図5)

図5 砂川市の特定健康診査・健康診査受診者数(平成23年度)



特定健康診査

男性	40～74歳	健診受診者	494	32.5%
		健診対象者	1,519	

女性	40～74歳	健診受診者	731	36.5%
		健診対象者	2,002	

参考 人口は平成24年3月31日現在、健診対象数及び健診受診者数は平成23年度特定健康診査

健康診査(国保被保険者分)

男性	35～39歳	健診受診者	9	8.6%
		国保被保険者	105	

女性	35～39歳	健診受診者	9	10.0%
		国保被保険者	90	

参考 人口は平成24年3月31日現在、国保被保険者数は平成24年3月30日現在、健診受診者数は平成23年度健康診査

特定健康診査の受診回数別の結果を見てみると、初めての受診者は、全ての健診データにおいて、継続受診者より悪い状態です。(表 11)

現在の受診率は35%前後に過ぎず、まだまだ地域に重症化予防の対象者が潜在していることも考えられますので、受診率を高めていく方策が必要となります。

表 11 平成 23 年度 特定健康診査受診者の受診回数別有所見状況

受診勧奨値のうちガイドラインを踏まえた受診勧奨対象者			全体		継続受診者 過去に1回以上受診がある者		H23年度 初めて受診者		
受診者数			1,225 人	100.0%	1,011 人	82.5%	214 人	17.5%	
項目	基準値	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
身体の大きさ	BMI	25以上	312 人	25.5%	246 人	24.3%	66 人	30.8%	
	腹囲	85or90以上	368 人	30.0%	304 人	30.1%	64 人	29.9%	
血管が傷む (動脈硬化の 危険因子)	内臓脂肪	中性脂肪	400以上	9 人	0.7%	4 人	0.4%	5 人	2.3%
		HDLコレステロール	34以下	9 人	0.7%	5 人	0.5%	4 人	1.9%
	インスリン 抵抗性	血糖	空腹時血糖	126以上	—	—	—	—	—
			HbA1c	6.5以上	45 人	3.7%	30 人	3.0%	15 人
	血管を 傷つける	血圧	収縮期	160以上	142 人	11.6%	110 人	10.9%	32 人
拡張期			100以上	23 人	1.9%	16 人	1.6%	7 人	3.3%
		計	152 人	12.4%	118 人	11.7%	34 人	15.9%	
その他の動脈硬化危険因子	LDLコレステロール	160以上	134 人	10.9%	108 人	10.7%	26 人	12.1%	
腎機能	尿蛋白	2+以上	9 人	0.7%	7 人	0.7%	2 人	0.9%	
	eGFR	50or40未満	33 人	2.7%	27 人	2.7%	6 人	2.8%	
	尿酸	9.0以上	5 人	0.4%	3 人	0.3%	2 人	0.9%	

* 空腹時血糖・HbA1c・eGFR・尿酸については検査実施者数が異なる場合、検査実施者数を分母に割合を算出(あなみツール)

平成 22 年度の国民健康保険特定健康診査(特定健診)受診者(40～74 歳)の有所見状況を、北海道及び道内 34 市と比較すると、砂川市は、メタボリックシンドローム予備群及び収縮期血圧、腎疾患に関する尿酸・クレアチニンの有所見者の割合が全道平均よりも高くなっています。

また、全道平均よりは下回ってはいるもののHbA1c(49.0%)・LDLコレステロール(52.2%)の有所見率が高率となっています。(表 12)

特定保健指導によりメタボリックシンドローム予備群を減少させるための対策を強化するとともに、肥満の有無にかかわらず個々のリスクを評価した上で必要な保健指導を実施することが大切です。

砂川市では平成 20 年度から特定保健指導と合わせて、糖尿病等の生活習慣病の発症予防・重症化予防のために、特定保健指導の対象とならない方を含む特定健診受診者全てを対象に、学習教材を用いて保健指導を実施していますが、引き続き全ての受診者への保健指導を充実させることが必要です。

② 国民健康保険加入者以外の健康診査

「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」においては、各保険者は、質の高い保健サービスを効果的かつ継続的に提供するため、特定健診・特定保健指導、がん検診、労働者を対象とした健康診断等の徹底や地域・職域推進協議会等が中心となり、共同事業の実施等保健事業者相互の連携を図ることが必要といわれています。

砂川市においては、後期高齢者健康診査の受託や無保険者健康診査、年度途中で保険が切り替わった方への健康診査に取り組んでおり、平成 23 年度は、後期高齢者 166 人、無保険者 2 人、年度途中の国保加入・喪失者 32 人が健康診査を受けています。

しかしながら、その他の被用者保険被扶養者等の健康診査の実施状況が不明であり、今後は市民全体の健康診査等の実態把握に努めていくことが必要です。

(8) 出生

砂川市の出生率は、全国や全道よりも低く、年々減少しています。(表 13)

表 13 出生数・出生率及び低出生体重児出生数・出生率

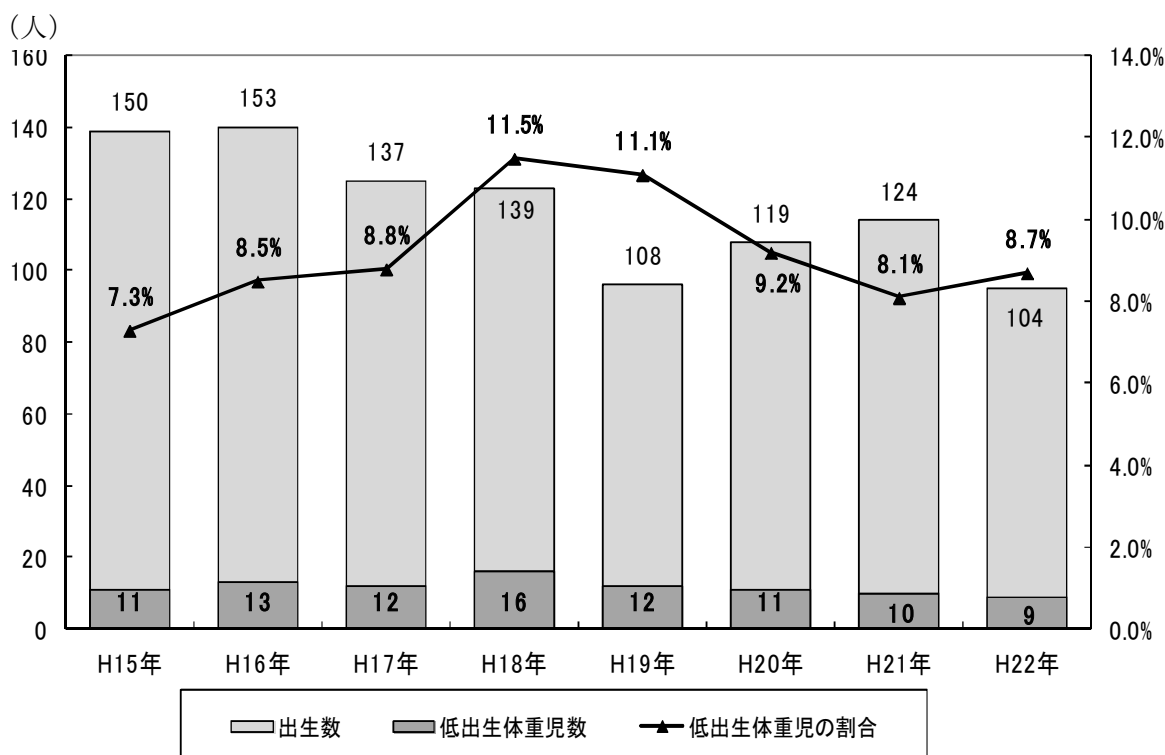
(平成 22 年度)

	全国		北海道		砂川市	
出生数・出生率	1,071,304 人	8.50	40,158 人	7.32	104 人	5.46
低出生体重児 出生数・出生率 (出生百対)	103,049 人	9.62	3,934 人	9.80	9 人	8.65

近年、出生の時の体重が、2,500g 未満の低出生体重児については、神経学的・身体的合併症の他、成人後に糖尿病や高血圧等の生活習慣病を発症しやすいとの報告が出されてきました。

砂川市の低出生体重児の出生率は、全国や全道と比較して少ない状況ですが、毎年 8~11% が低体重の状態で出生していることから、妊娠前・妊娠期の心身の健康づくりを行う必要があります。(図 6)

図 6 出生数及び低出生体重児出生数・出生率の推移



3. 市の財政状況に占める社会保障費

砂川市においては、平成 23 年度一般会計決算において、歳出の第 1 位が民生費となり、全会計

決算での医療、介護、生活保護の社会保障費が、約 45 億円となっています(図7)

今後さらに高齢化が急速に進展する中で、いかに砂川市の社会保障費の伸び率を縮小させるかが、大きな課題となってきます。

序章でも触れたように、疾病による負担が極めて大きな社会の中で、市民一人ひとりの健康増進への意識と行動変容への取り組みを支援できる、質の高い保健指導が求められてきます。

図7 砂川市の財政状況と社会保障費

歳入（一般会計）		歳出（一般会計）	
115 億円 (H23 決算)		111 億円 (H23 決算)	
1 位	交付税 4 8 億円	1 位	民生費 2 6 億円
2 位	市税 2 1 億円	2 位	土木費 2 4 億円
3 位	国庫支出金 1 2 億円	3 位	公債費 2 0 億円

社会保障費 45 億円

	医療	介護	生活保護
決算 (H23)	約 2 5 億円	約 1 5 億円	約 5 億円
一般会計	約 1.6 億円	約 2 億円	約 0.6 億円